

令和5年度  
事業報告書



社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会

# 令和5年度 事業報告（概要）

## 基本理念

**佐伯市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。**

## 総括

本市の生活課題には、少子高齢化や過疎化の進行などによる認知症高齢者の増加、住民同士のつながりの希薄化や経済的困窮などを背景とした社会的孤立、子どもの貧困など、地域における福祉課題が複雑多様化、深刻化している。また、既存のサービスだけでは対応できない、いわゆる「制度の狭間」で支援を必要としている人たちが増えているなか、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を推進するため、令和5年度の事業に取り組んだ。

今年度は、働きやすい職場環境、安定した法人運営、職員定着・人材育成を目指し、各課、各支部から提案された33項目の懸案事項について毎月の管理職会議で検討した。

法人運営においては、「人事評価制度」の取り組みを行い、職員の就労意欲を高め、やりがいや達成感の得られる職場として、職員の育成や定着、組織の活性化に努めた。また、臨時職員の賃金単価の見直し、法令遵守によるタイムカードの導入、車両更新基準に基づいた車両の購入、初任給調整手当の導入、「ふくふく認証」取得に向けた取り組みを開始した。

地域福祉事業においては、地域の困りごとの解決に向けて地域住民や関係団体と地域課題を共有し、問題解決に取り組んだ。また、生活福祉資金特例貸付制度などを通じて顕在化した生活困窮に陥っている方々に対して、日常生活への援助や食材支援を継続して行うなどきめ細かい支援を行った。また、国の施策展開の動向に注視しながら、佐伯市における地域福祉をより実践的に進めていくために、令和6年度からの5年間の計画となる「第4期地域福祉活動計画」を策定した。また、補助金算定ルールの見直しによる補助金の増額、災害ボランティアセンター協定内容の変更協議等を行った。

在宅福祉事業においては、効率的な事業運営と収支の安定化に努めた。また、地域包括支援センターも相談件数が増大する中、関係機関と連携し、高齢者の相談解決に努めた。また、利用者の獲得、収入増の取り組み協議、ICTの導入、ケアマネ・ヘルパーの高齢化への対応の協議を行った。

施設福祉事業の佐伯市特別養護老人ホーム「豊寿苑」においては、効率的な施設運営と収支の安定化に努めた。苑内行事としては、入所者が快適な生活が送れるよう各フロアで季節にちなんだ行事を実施し、入所者へのサービス提供に努めた。

以下に令和5年度の具体的各種事業取り組み状況について報告する。

## <総務課>

### 1. 理事会・評議員会等の運営

#### (1) 理事会

会議名	期日	議題
第1回理事会	6月2日	令和4年度事業報告について 令和4年度収支決算について 令和5年度第1号収支補正予算(案)について 職員給与規程の一部改正(案)について 任期満了に伴う新役員(案)の提案について 評議員選任候補者の推薦について 令和5年度第1回評議員会の開催について 評議員選任・解任委員の選任(案)について 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
第2回理事会	6月19日	会長・副会長・常務理事の選任について
第3回理事会	10月10日	積立金の取り崩しについて 令和5年度第2号収支補正予算(案)について 令和5年度第2回評議員会の開催について
第4回理事会	3月18日	積立金の取り崩しについて 令和5年度第3号収支補正予算(案)について 令和6年度事業計画(案)について 令和6年度当初収支予算(案)について 職員給与規程の一部改正(案)について 臨時職員に関する規程の一部改正(案)について 定款の一部変更(案)について 役員等賠償責任保険契約について 令和5年度第3回評議員会の開催について

#### (2) 評議員会

会議名	期日	議題
第1回評議員会	6月19日	令和4年度事業報告について 令和4年度収支決算について 令和5年度第1号収支補正予算(案)について 任期満了に伴う役員を選任について
第2回評議員会	10月20日	積立金の取り崩しについて 令和5年度第2号収支補正予算(案)について
第3回評議員会	3月26日	積立金の取り崩しについて 令和5年度第3号収支補正予算(案)について 令和6年度事業計画(案)について 令和6年度当初収支予算(案)について 定款の一部変更(案)について

(3) 監事による監査

監 査 名	期 日	検 査 の 範 囲
内 部 監 査	5 月 19 日	例月出納監査( 1月・2月・3月分)
決 算 監 査	5 月 19 日	令和4年度 会計決算監査
内 部 監 査	8 月 18 日	例月出納監査( 4月・5月・6月分)
内 部 監 査	11 月 17 日	例月出納監査( 7月・8月・9月分)
内 部 監 査	2 月 15 日	例月出納監査( 10月・11月・12月分)

(4) 評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会	6月21日	評議員の選任について
----------------	-------	------------

(5) 役員視察研修

期 日:令和5年12月5日(火)~6日(水)

視察先:九重町社会福祉協議会・・・重層的支援体制整備事業の取り組みについて

大分県社会福祉協議会・・・社会福祉協議会の今後の動向について

参加者:役員9名・事務局3名

## 2 財務運営・管理

事業計画・予算の立案、執行管理及び事業量を把握し、費用対効果を意識した予算ヒアリングに努めた。

## 3 自主財源確保の取り組み

社協会費の状況

令和5年度 戸別会費 内訳表

区 分	金 額 (円)			口 数 (件)			納 入 率 (%)		
	3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度
佐伯	3,955,310	3,705,041	3,573,930	7,895	7,409	7,147	39.17	37.19	35.99
上浦	333,000	303,500	232,500	666	607	465	79.00	72.52	56.16
弥生	831,500	812,200	738,150	1,663	1,624	1,476	67.30	64.01	58.11
本匠	225,500	220,000	209,000	451	440	418	77.76	75.47	72.70
宇目	447,700	429,000	415,700	896	858	831	74.42	71.50	74.20
直川	324,900	316,510	305,101	650	633	610	90.03	90.30	88.41
鶴見	446,000	436,000	413,500	892	872	827	67.02	66.36	65.63
米水津	308,570	271,500	266,100	617	543	532	78.00	71.54	70.46
蒲江	714,250	612,590	674,560	1,428	1,225	1,349	46.17	41.79	47.13
合計	7,586,730	7,106,341	6,828,541	15,158	14,211	13,655	48.60	46.16	44.79

区 分	金 額 (円)			口 数 (件)		
	3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度
賛助会員	144,000	129,000	116,000	288	258	232
団体会員	659,000	807,000	864,000	1,318	1,614	1,728

#### 4 リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

各種関係法令改定に伴い、関連する事業の運営体制の整備を行い、職員に内容の周知を図り、公共的使命と社会的責任の重さに鑑み、法令等を遵守する取り組みを行った。

#### 5 計画的な採用・人事考課等の人事管理

- 職員の育成と定着、組織の活性化と基盤強化を目的に人事評価制度を導入した。
- 事業規模に応じた適正な人員、職務に必要な有資格者を確保するため職員採用を行った。
- 事業維持継続のために臨時職員に関する規程の一部改正を行った。(定年の延長)
- 事業の円滑かつ効率的な運営のため、適切な雇用管理を進めた。

#### 6 研修・能力開発等の計画的な人材育成

階層別(新任職員・介護従事者・管理職)の職場内研修を通じて、職員の自己啓発を図りながら、業務に対する「意欲の向上」、「能力開発」に努めた。

- 新任職員研修(4日間)
- 現任管理職研修(ハラスメント)
- 介護従事者全体研修(人権・認知症)

#### 7 労働法制に基づいた労務管理・働きやすい職場づくりの推進

- 法令遵守によるタイムカードの導入
- デジタル技術を活用した業務効率改善の研究
- おおいた働きやすく やりがいのある介護の職場 認証制度「ふくふく認証」取得に向けた取り組み開始
- 働き方改革の推進、定期健診の実施
- 職員の安全と衛生管理のための衛生委員会の開催(豊寿苑)

#### 8 佐伯市社会福祉センターの管理・運営(指定管理事業)

地域住民の福祉及び健康の増進及び意識の高揚を図ることを目的に適切なセンターの管理運営を行った。

## <地域福祉課>

第3期地域福祉活動計画(H31～R5)に関連する社協の具体的な取り組み

### ☆重点事業

- (1) 地域の課題に対して、不足するサービス構築を目指し、住民自らがお互いに支えあえる地域づくりを進める。
- (2) 生活困窮者の相談体制を強化し、自立に繋がる支援を多機関協働により行う。
- (3) 成年後見センターの運営を行い、権利擁護体制を充実させる。

## [I] やさしい心と人づくり

### 1 地域の交流・ふれあいの推進

#### (1) ふれあい・いきいきサロン事業の推進（市受託事業）

①高齢者の介護予防の推進を図るとともに、引きこもりを予防し、社会参加が保てるように、レクリエーションや健康体操等を取り入れて実施した。

・登録数（145ヶ所 1,718人）

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	計
自主型	37	1	0	7	1	7	0	0	0	53
支援員型	9	0	29	0	16	1	10	8	19	92
合計	46	1	29	7	17	8	10	8	19	145

#### ②ふれあい・いきいきサロン関係者の研修会

サロンを支える支援者の介護予防の知識習得、レクリエーションメニューの充実を図ることを目的に研修会を実施した。

・サロン協力者研修会（年間2回）

佐伯市の介護保険の現状、廃用予防、認知症予防、楽しいレクリエーション、コロナ禍を乗り越えるこれからの活動について学習会を行った。

・サロン支援員・お助け隊研修会（年間7回）

佐伯市の介護保険の現状、高齢者に生じやすい日常生活上の課題（高血圧とオーラルフレイルについて）と改善点、重点的に取り組むべき体操や注意点、現場で取り組める健康プログラム等について継続学習を行った。

#### ③体力測定の実施 支援型サロン：842名 自主型サロン：69名

- ・サロンの効果と参加者の健康状態を把握するため、体力測定の実施。
- ・基本チェックリストの活用を行った。

#### (2) 子育てサロンの運営支援

①子育て中の保護者の情報交換や集いの場として、情報共有や活動支援を行った。

・登録数（6ヶ所）

支部	佐伯	弥生	蒲江	合計
登録数	4	1	1	6

#### ②子育て交流会（年間1回）

・「食」、「便」のこと、腸内環境が自律神経に及ぼす影響について学習を行った。

(3) 子ども食堂立ち上げ・運営支援

- ①地域の方々からの食材の寄付を子ども食堂に分配する等、後方支援を行った。
- ②市内子ども食堂のチラシ作成、地域への周知に努めた。
- ③子ども食堂交流会（年3回）開催、また由布市庄内町ボランティアの会との交流会を開催し、各々の現状や課題等について情報交換を行った。
- ④子育て世代だけでなく様々な世代がかかわりを持ち、地域住民の『居場所』、『交流の場』として「つぼみ食堂」が活用できるよう支援した。  
場所：直川（中道地区集会所） 第1土曜日
- ⑤ひとり親家庭を対象に月1回子ども食堂「ひだまり」の新規開催。（弥生地区）
- ⑥子ども～高齢者までを対象に月1回「しあわせ食堂」の新規開設。（佐伯地区）

(4) 児童館・放課後児童クラブの運営（指定管理事業）

- ①児童館の管理運営・・・・・・・・（佐伯、上浦、蒲江）  
    〃（地域子育て拠点事業）・・・・・・・・（上浦、蒲江）
- ②放課後児童クラブの運営・・・・・・・・（上浦、蒲江）

児童館・地域子育て支援拠点事業、放課後児童クラブの利用人数			
	佐伯児童館	上浦児童館	蒲江児童館
①児童館 延べ人数	8,656	2,416	2,644
内、地域子育て支援拠点事業 延べ人数		(1,277)	(2,023)
②放課後児童クラブ 延べ人数		1,487	8,721
合 計(①+②)	8,656	3,903	11,365

(5) 地域行事への支援

- 地域で行われる行事等への事業費の助成や必要な物品の貸し出しを行った。
- ①地区社協活動への助成や人的物的支援

・20 地区社協への助成 3,759,000 円

地区社協	主 な 活 動 内 容
佐 伯	さいき元気っ子クラブ支援、佐伯児童館支援 (中止) グラウンドゴルフ大会、配食サービス
佐伯東	広報誌「きずな」発行、配食サービス、グラウンドゴルフ大会、ほのぼの作品展 (中止) ほのぼのお月見会
渡町台	配食サービス、会報「ときめき」発行、地区防災研修会、ふれあいまつり ひまわり文庫まつり、とまちっこ子どもまつり、親子ふれあい野鳥観察会 渡町台おやじキッチン
鶴 岡	福祉教室、トトロの広場事業、シルバーと子どもの集い、サロン支援 視察研修
上堅田	こども祭り、福祉研修会、ふれあい広場(展示・グラウンドゴルフ大会) 給食サービス
大入島	健康づくり大会、災害ボランティア研修会、愛のおたより、給食サービス 視察研修
八 幡	給食サービス、社協・健康まつり
西上浦	ふれあい夏祭り、西上浦健康まつり、視察研修、ひな弁当配布、安心安全パトロール隊(狩生・車交差点該当指導)、彦嶽登山大会



下堅田	ふるさとふれあい広場、配食サービス、愛の正月もち配布、視察研修 鮎かけの集い、ふれあい料理教室
青山	配食サービス、青山女性百人会ひな祝いサービス、黒沢ウォーク、視察研修 市民体育祭青山地区大会、青山地区教育ネット夏季プログラム
木立	配食サービス、供養盆踊り大会、敬老会、ふれあい公民館まつり ウォーキング大会、元越山登山会
灘	ふれあい食の事業、給食サービス、子ども会活動、健康づくり体操教室 暮らしの書道教室、「姫楽の会」の活動
上浦	夏祭り、ふれあい交流グラウンドゴルフ・ペタンク大会 生活支援ボランティアグループちょこボラかみうら支援
弥生	こども園との合同芋掘り会、防災頭巾作り、独居・高齢者世帯暮らし寿司等配布 事業、グラウンドゴルフ大会、視察研修、独居・高齢者世帯弁当配布事業、地区 社協だより発行、高齢者ボランティア感謝状授与、避難訓練と避難経路の点検(障 がい者支援)、制服リユース活動
本匠	歳末もちつき事業、ふれあい配食サービス事業、学校整備事業・視察研修 お出かけサロン、みずぐるまの活動支援、地区社協だより発行
宇目	ふれあいの集い、あんしん見守り隊啓発活動、地区社協だより発行、宇目つくし 隊支えあい活動の支援、地区納入袋提供、チャイルドシート・車椅子の貸出事業
直川	高齢者クリスマス配食の配達支援、絵手紙配付事業(暑中・年賀)、地区社協だよ り発行、小学生とのお茶摘み交流体験、避難所訓練への参加、三世代交流スポー ツ大会、見守り兼買い物支援
鶴見	地区スポーツ大会助成事業、歳末福祉もちつき大会、住民たすけあいサービスの 実施(生活支援サービス・さざなみ支援)、地域交流事業
米水津	ふれあいスポーツ大会、生活支援サービス(たすけ愛隊)、ふれあい配食サービ スの支援、歳末おもちつき事業、ペタンク大会
蒲江	福祉関係者研修会、蒲江安全安心マンボウ隊(見守り活動)、ふれあい交流グラ ウンドゴルフ大会、クリスマスプレゼント配布事業

②イベント用品や防災訓練備品等の貸し出し

○地区社協のイベントや防災訓練等に貸し出し

	綿菓子機	かき氷機	ポップコーン機	防災訓練備品	計
貸出件数	13	12	11	0	36

○レクリエーション用品の貸し出し

ふれあいサロン、子育てサロンや地区社協のイベント等で活用した。件数 77 件

## 2 福祉意識の醸成

### (1) 社協ちびっこフェスティバル

○10月15日、佐伯市仲町商店街にて開催。関係者を含め約350名の来場者があった。オープニングイベント・福祉体験・防災クイズラリー・遊びのコーナーなどを通じて、多くの子ども達が貴重な体験をすることができた。

### (2) 福祉体験プログラムの実施

○学校での福祉体験教室の開催 13校 参加者519名 学校以外 1カ所

佐伯城南中	車いす、福祉講話	鶴谷中	車いす、アイマスク
彦陽中	車いす、アイマスク	木立小	車いす、高齢者疑似
東雲小	車いす、アイマスク	東雲中	車いす、アイマスク



明治小	手話	宇目緑豊中	車いす、アイマスク フラワーアレンジメント 体験（高齢者施設へ寄贈）
直川小	高齢者疑似、アイマスク	直川中	車いす、高齢者疑似
松浦小	手話、高齢者疑似 車いすバスケット	鶴見中	車いす、アイマスク
米水津中	車いす、高齢者疑似 高齢者福祉について（講話） 社協とは（講話）	【学校以外】 本匠山っこ クラブ	福祉体験 盲導犬とのふれあい

### (3) 福祉スクールの開催（弥生支部）

- 介護保険制度や地域の助けあいの仕組みについて若い世代に関心をもっていただくことを目的に、子育てサロンの保護者を対象に生活支援ボランティアの協力を得て、講話などを行った。参加者：乳幼児・保護者(9組)

### (4) その他

- 社協事業のPRと地域課題について住民との意見交換を行った。

- ・地区社協の4つの部会を開催（弥生支部） 9回開催
- ・寄り合い座談会の開催（米水津支部） 竹野浦地区 20名
- ・小地域での懇談会の開催（蒲江支部） 丸市尾地区 5名

- 第18回 大分県地域福祉推進大会への参加

- ・12月20日 別府市「ビーコンプラザ」

県知事表彰	県知事賞	県知事感謝状	県社協会長表彰	県老連会長表彰
個人3名	1団体 個人1名	個人2名	2団体 個人9名	個人3名

- ひとしずくちゃんぬりえコンテスト（2回）

- ・コロナ禍でもできる親子イベントとして、市内4児童館協力のもと親子の触れ合いと福祉意識の醸成を図った。

## 3 ボランティア・NPO等の育成

### (1) ボランティアの活動啓発・支援

- ボランティアセンターを運営し、コーディネーターを配置

#### ① ボランティア団体・保険加入状況 （令和6年3月31日現在）

社協で把握している団体数	66団体 ※ 内、ボランティア連絡協議会加入 16団体	
ボランティア保険加入状況	2,686名	活動者の傷害、賠償補償保険
ボランティア行事用保険加入状況	41件	行事ごとに加入するボランティア保険
事故対応	3件	活動中の事故に対する保険申請
送迎サービス補償加入状況	2件	直川、くらサポ

福祉サービス総合補償加入状況	13件	ちよこちよこマーチ、青山地区社協、米水津地区社協、佐伯市配食サービス、宇目つくし隊、社協直川支部、鶴見地区社協、本匠「みずぐるま」、直川地域協力隊、車地区おたすけ愛隊、ちょこボラかみうら、西上浦地域コミュニティ協議会、ボランティア直川
----------------	-----	---

## ②相談・登録・斡旋事業

ボランティアに関する相談・支援と活動機会の提供及び、コーディネートを行った。

- ・ボランティアの募集 43件
- ・ボランティア活動のマッチング 15件
- ・上記以外の相談受付、情報提供 2件

## ③収集ボランティア、手芸ボランティア活動の推進

ボランティア機会の確保として、手芸ボランティアに会場提供

- ・月2回(第1、3木曜)小物等を作成、手直しを行った。  
巾着袋、マイクカバー、ポシェット、ベッドや車いすの保護カバー、古着物の解体
- ・ボランティアの交流会を実施

## ④佐伯市ボランティア連絡協議会への事務支援

ボランティア連絡協議会の事務局を担い、総会や理事会、研修会等の運営支援を行った。

- ・総会、理事会(年2回)、交流会、能登半島地震義援金募金活動

## (2)生活支援ボランティア講座の開催(地域づくり大作戦)

○今年度は、講座受講修了者に、傾聴ボランティアの実践活動を依頼。

- ・「話し相手がない」「話を聴いてほしい」という地域の声を受け、傾聴ボランティアの派遣マッチングを実施。(6ケース)
- ・生活支援ボランティアとして活動をしている方に対し、他地区の活動状況報告や悩みの解決策を検討した。

## (3)ボランティア手帳の発行

○中学生、高校生ボランティア活動啓発事業の推進

- ・希望する中学生、高校生にボランティア手帳を配布した。

## (4)NPO・企業ボランティア団体との協働の推進

- ・企業ボランティア団体からボランティアについての相談を受けた。

## (5)夏のボランティア体験事業

- ・夏休み期間のボランティア体験を福祉施設と協力し、学生の受け入れ対応を行い、ボランティア意識の高揚ときっかけづくりを支援した。(233名 施設の協力)

## (6)各種ボランティア講座

- ・傾聴ボランティア講座(今年度は未実施)

#### 4 関係団体の活動促進

##### (1) 市民生委員児童委員協議会の活動促進

○住民の身近な相談窓口である民生委員・児童委員の活動支援を行った。

###### ①市民生委員児童委員協議会の事務支援

###### ②民生委員児童委員の活動支援

- ・緊急キットの更新作業、PR活動
- ・おめでとう訪問事業（主任児童委員の支援） 179件

##### (2) 市ボランティア連絡協議会の支援

○総会、理事会（年2回）、交流会、能登半島地震義援金募金活動

##### (3) 地区社協の活動支援

○地区社協会長・事務局長会議の開催

##### (4) 老人クラブ連合会の支援（市受託事業）

###### ①佐伯市老人クラブ連合会 65クラブ 1,944名加入

- ・理事会 4回 評議員会 1回
- ・市老連スポーツ大会 9月14日 弥生スポーツ公園 180名
- ・佐伯市老人クラブ大会 11月16日 さいき城山桜ホール 200名参加

区分	市老連会長表彰会員功労賞	米寿	白寿
受賞者数	35名	73名	2名

###### ②佐伯市老人クラブ連合会佐伯支部 14クラブ 260名加入

- ・理事会4回, 会長会4回, 女性部会1回
- 7月14日 グランドゴルフ大会 35名 5月22日 ペタンク大会 8名
- 10月16日 スポーツ大会 番匠体育館 120名参加
- 8月18日 佐伯支部老連交流会 28名参加

## [II] 支えあう地域づくり

### 1 地域のネットワークづくりと支えあい活動の促進

#### (1) 地域福祉ネットワーク事業の推進

##### ①緊急情報キット連絡会による情報共有と連携の強化

佐伯警察署、佐伯消防署、市民児協、行政機関と緊急情報キット活用事例の情報共有を行った。

##### ②災害ボランティアネットワーク協議会の開催

##### ③生活困窮者自立支援連絡会議の開催

##### ④福祉推進員による見守り活動の推進（蒲江支部）

##### ⑤小地域の課題共有と課題解決に向けた住民主体の協議体（話す会、考える会設立準備委員会、地区コミュニティ協議会）への職員派遣

- ・青山・西上浦・宇目・直川(第1期)
- ・渡町台、大入島、鶴見、米水津(第2期)

- ・上浦、本匠、下堅田、木立(第3期)

(2) 地域づくり大作戦(市受託事業:生活支援体制整備事業)

①生活支援コーディネーターの配置

- ・第1層(全市対象)2名、第2層(旧市内、旧町村)17名

②協議体の取り組み

- ・第1層協議体(高齢者にやさしい地域づくり協議会)

7月21日 令和4年度報告、令和5年度の取り組みについて

1月19日 令和5年度事業報告について、移動支援の進捗状況について経過報告

- ・第2層協議体の開催

大分大学より講師を招いて地域点検ワークショップの開催。(弥生地区1回)

③地域ケア会議への参加 年22回 地域課題の把握に努めた。

④ケアマネジメント支援会議への参加 年22回 地域課題の把握を行い、多職種の専門職との繋がり構築に努めた。

⑤生活支援ボランティアの立ち上げ

生活支援ボランティア「ちょこボラかみうら」の立ち上げ支援(上浦地区)

⑥生活支援サービスの実施支援

- ・高齢者等の日常生活における「ちょっとした困りごと」への支援策として、住民主体による生活支援サービスを実施、支援した。

青山1件、木立11件、西上浦35件、上浦10件、弥生222件、本匠45件

宇目23件、鶴見62件、米水津73件、蒲江48件(畑野浦40件、竹野浦河内8件)

⑦地域拠点の支援:佐伯・弥生地区「チェアー」

- ・地域の居場所として、「チェアー健康体操」へ専門職の派遣を行い、運営支援を行った。

女島 月2回 登録者15名 床木 月4回 登録者10名

⑧地域拠点の支援:鶴見地区「さざなみ」

- ・鶴鶴クラブ(生活支援ボランティア)が中心となり、さざなみの運営を支援した。

参加者 延べ276名 支援者 延べ114名

⑨地域資源マップ・社会資源リストの更新

- ・社会資源についてホームページへ掲載。更新作業を行った。

- ・高齢者のサロン等の基本情報を更新した。

(3) フードバンクおおいとの協力

- 家庭で消費されない食料品の寄附を受け生活困窮者の支援に活用した。

利用延べ人数:211名

- ・フードドライブを2回実施し、お米・缶詰・海苔・調味料等を集めることができた。

(4) 共同募金委員会の運営

- 佐伯市共同募金委員会事務局を担い、地域福祉活動の財源となる共同募金(赤い羽根募金、歳末募金)の募金活動を行った。

①赤い羽根共同募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	18,126	5,911,891
街頭募金	1	25,872

法人募金	3	4832
職域募金(バッチ募金等)	137	57,326
その他(預金利息等)	7	176,265
募金合計	18,274	6,176,186

※ 募金総額の概ね60%が、令和6年度地域福祉事業の財源として助成される。

②歳末たすけあい募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	18,852	3,559,210
法人募金	8	65,700
学校募金	3	226,773
職域募金	22	26,482
その他(預金利息等)	16	446,485
募金合計	18,901	4,324,650

③共同募金運営委員会の開催

	期日	議題
第1回	6月26日	令和4年度共同募金報告 令和5年度共同募金目標額について 令和5年度歳末たすけあい募金配分指針について
第2回	11月24日	令和5年度赤い羽根募金中間報告について 歳末たすけあい募金本部・支部助成について 歳末たすけあい募金公募事業助成の審査について

④運営委員会で助成方針について協議を行い、助成申請の審査を経て地域の支え合い活動等へ助成を行った。

項目	件数	金額
福祉団体助成	89	4,645,500

2 活動拠点の確保

(1) 佐伯市社会福祉センター・地域福祉センターの運営(指定管理事業)

○ボランティア、健康づくりや生きがいづくり等、各種団体の研修機会の場所として、活動拠点の運営管理を行った。

・佐伯市社会福祉センター	1,527回	12,107人
・上浦地域福祉センター	9回	93人
・直川地域福祉センター	65回	901人

(2) 地域の寄り合い所の確保・運営支援(地域づくり大作戦)

○高齢者(地域住民)の居場所・地域拠点の支援

- ・高齢者と中学生の居場所づくり「ふれあいハウス」の支援  
使われていない幼稚園舎を活用し、中学校、振興局、ボランティアらの協働による居場所支援を行った。(直川支部)
- ・誰もが寄れる地域の拠点として、鶴鶴クラブ(生活支援ボランティア)が運営する「さざなみ」の活動支援 週1回 延べ利用者390名(鶴見支部)
- ・体操教室(通いの場)の運営支援 年40回 参加者276名(鶴見支部)

- ・丸市尾地区在住の一人暮らしの方を対象に月に1回、「よってみらんかい」という集いの場を開催し、親睦を図った。参加者10名(蒲江支部)

(3) ボランティアの拠点の確保

- ・手芸ボランティアへの活動場所の提供(毎月第1.3木曜)
- ・佐伯市ボラ連の理事会や会議などに会場提供

[Ⅲ] サービスを利用しやすい仕組みづくり

1 情報提供の充実

(1) 広報等による情報提供

○社協の福祉活動や地域の福祉活動を定期的に広報した。

①社協だよりの発行(全戸配布・年間4回 発行部数31,700部/回)

②ホームページ・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信

地域住民に社協活動をより詳しく知ってもらい、新しい福祉情報を提供するため、ホームページの更新・管理運営を行った。アクセス回数 16,382回

③ケーブルテレビによる事業発信(随時)

④「ひとしずくちゃん」による広報

- ・イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」による社協活動のPR
- ・事業やイベント、児童館などに出向き、地域住民とのふれあい
- ・ひとしずくちゃん自動販売機6台

2 相談支援体制の充実

(1) 弁護士による無料法律相談会 年間12回 93件

(2) 民生委員による心配ごと相談会

- ・佐伯:6回 0件 ・蒲江:6回 10件

(3) 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

①生活困窮者自立支援事業

ア.生活に困窮している方に、自立した生活ができるように継続的な相談支援を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談	13	14	6	14	9	4	11	7	6	9	13	10	116
継続相談	201	205	220	215	173	180	155	182	224	171	151	201	2,278
プラン数	5	8	3	3	5	7	3	1	2	2	5	6	50
就労者数	1	2	1	2	1	1	1	0	1	1	3	1	15

イ. 支援調整会議・支援連絡会議の開催

- ・プランについて協議し、関係機関との連携に努めた。調整会議:12回 連絡会議:1回

ウ. 就労支援・ハローワークとの連携

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
履歴書添削	1	0	0	0	1	2	1	1	0	2	1	0	9
ハローワーク同行支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3



エ. 愛のひとしづく事業による食料品等の支援

- ・歳末たすけあい募金の助成を受け、相談過程における生活困窮者に商品券を支給した。  
利用対象者：45名 総額：123,000円

オ. フードバンクを活用した食料支援

- ・相談過程において、食べる物に困っている世帯に当面の食料品を支給した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用延べ人数	21	27	16	16	12	14	19	18	19	19	9	21	211
提供した食品	米、缶詰、レトルト食品、カップ麺、即席麺等の食料品												

カ. きずなギフトの実施

- ・相談者の自宅を訪問し米や日用品等を配布することで、自宅での生活を把握  
生活不安を軽減することを目的として実施した。 利用延べ人数：90名

キ. 衣類バンク事業による支援

- ・相談者の清潔保持や就職支援（面接）等で必要とされる衣類を支給した。（3名）

ク. ほっとc a f eの開催

- ・相談過程におけるひきこもりや就労に支援が必要な方々を対象にカフェを開催  
生活リズムの改善、コミュニケーション能力の育成、集いの場の提供、ひきこもりからの脱却などを目的として実施した。 開催：14回 延べ人数：44名

ケ. きずなファームの実施

- ・民間所有者の畑の一部を無償で借り、就労体験や居場所づくりを目的として農作業体験を実施。収穫した野菜を使い、7月に「キッチンきずな（調理実習）」でカレーづくりを行った。

※ じゃがいも、人参、タマネギ、さつまいも、大根、ほうれん草等の栽培

コ. きずなマーケットの実施

- ・きずなファーム参加者を対象に、就労意欲の向上を目的として、きずなファームで収穫した野菜の販売体験を行った。 実施回数：4回

サ. ひきこもり脱出作戦会議の開催

- ・市内の精神科医及び障がい者相談支援センターと連携し、ひきこもり者へのアプローチ方法を検討した。 開催：2回（延べ24件）

シ. ひきこもり者定期巡回訪問の実施

- ・ひきこもり状態にある方やそのご家族の状況を把握し、つながりを持ち続けることを目的として、定期的に自宅訪問を行った。 延べ88回

ス. きずなレターの送付

- ・ひきこもり者や就労準備段階の人たちを対象に、「ほっとカフェ」や「きずなファーム」

の案内や年賀状等、手書きのお便りを郵送し、アプローチを行った。

延べ送付者数：195名

#### セ. ワークチャレンジ事業

- ・就労した経験のない方や職業生活にブランクのある方などを対象に就労意欲の向上や自立をはかるために就労体験を行った。 実施回数：3回

#### ソ. おおいたくらしサポート事業の連携

- ・市内の「おおいたくらしサポート事業」を実施する施設と協働して「おおいたくらしサポート事業佐伯地区連絡会議」を開催した。 開催：1回

#### タ. 広報活動

- ・広報用シールの作成 1,000枚
- ・「社協だより」に毎号掲載 (年4回)
- ・ホームページへの佐伯市くらしサポートセンター「きずな」活動状況の掲載

### (4) 社協職員による総合相談事業

#### ○社協職員による保健・福祉全般にかかわるワンストップの相談体制

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	185	21	6	14	13	46	40	23	4	352

#### ○相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
生計問題	3	相続・財産問題	
年金問題		事故問題	
金銭問題(貸借・多重債務など)	8	人権相談	
離職による相談		児童福祉関係	1
住宅問題	1	教育・青少年関係	
家族問題	4	障がい者・児関係	2
結婚問題		老人福祉関係	183
離婚問題		父子・母子関係	
不貞行為・慰謝料		苦情相談	
健康・医療・介護問題	76	その他	63
近隣トラブル・境界線	11	合計	352

### (5) 資金貸付事業

#### ①生活福祉資金貸付事業の実施

- ・低所得者等への資金の貸付

資金種類	申請件数	決定	不承認	貸付決定金額
総合支援資金	0	0	0	0
福祉資金・福祉費	9	8	1	2,138,000
福祉資金・緊急小口資金	10	10	0	736,000
教育支援資金	13	12	1	5,787,000
合計	32	30	2	8,661,000

・ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 申請件数：3件 申請金額：150,000円

②小口資金貸付事業の実施

・低所得者等への資金の貸付

資金種類	新規貸付件数	金額
生活資金	1	50,000
つなぎ資金	16	445,000
合計	17	495,000

(6) 就労準備支援事業

○自立相談支援機関との連携を密に行い、プランに位置付けられた相談者に対し、主に支援メニューにおけるプログラムを実施した。

メニュー事業の内容に関しては、軽スポーツやプッシュアップ事業等、個々に応じて対応した。また、すぐに就労が難しいような就労支援対象者だけではなく、ひきこもりがちな相談者等のアウトリーチも積極的に行った。

- ・新規対象者数 7件
- ・プラン作成件数 9件
- ・評価者数 6名
- ・継続支援実施延べ回数 326回

(7) 被保護就労支援事業（受託事業）

①事業の取り組み（概要）

- ・生活保護受給者のうち主に支援が必要と思われる18歳以上65歳未満で、就労が可能と思われる方について支援を行った。特に、ハローワーク同行、生活習慣を整えるため自宅訪問を行い、就職面接にも同行し自立を促した。

②具体的な取り組み内容

- ・プラン作成件数 18件
- ・相談件数(自宅訪問・電話) 449件
- ・情報提供 60件
- ・ハローワーク同行支援 40件
- ・応募件数 34件
- ・就労件数 13件
- ・その他 ハローワークからの依頼で事業所への斡旋を検討し、今後の事業拡大についても同時に検討した。

### 3 福祉サービスや健康づくり事業の充実

#### (1) 高齢者福祉サービスの充実

##### ○お洗濯支援事業（宇目支部）

- ・コインランドリーの管理運営と大きな洗濯物の洗濯代行サービスの実施

洗濯機利用回数	984 回	洗濯代行	4 回
乾燥機利用回数	3,693 回	乾燥代行	4 回

#### (2) 独居世帯への相談・見守り・終活などの支援

- 終活及び死後事務についての研修に参加し、今後の取り組みについて検討を行った。

#### (3) 毎日型配食サービス（上浦支部） 8,770 食

#### (4) 障がい者福祉サービスの充実

##### ①福祉機器の貸出（貸出件数）

福祉器具	佐伯	弥生	宇目	米水津	蒲江	合計
車イス	32	4	7	2	7	52

##### ②移送サービス事業（宇目支部） 今年度依頼なし

#### (5) 子育て支援サービスの充実

##### ①上浦子育て支援事業（上浦支部） 延べ 38 名

##### ②チャイルドシート貸出事業（宇目支部）

- ・貸出件数 2 件 ・保有台数 チャイルド用 3 台 ベビー用 2 台

#### (6) 健康づくり事業の充実

##### ○高齢者の介護予防としての健康づくり事業

##### ①「通りゃんせ」事業（佐伯エリア） 参加者 延べ 106 名（21 回/年）

ノルディックウォークを通じて仲間づくりや体力づくりを行い、健康寿命を延ばし、地域で元気に暮らす事を目的とし実施した。

- ・4 月より女島教室・鶴岡教室にて毎月各 1 回ずつ実施(九電健康料理教室 1 人 1 回参加)

##### ②「通りゃんせぷらす」事業（佐伯エリア） 参加者 延べ 67 名（12 回/年）

「通りゃんせ」事業のフォローアップとしてノルディックウォークを楽しみながら、健康意識・きずな・体力づくりの継続を目的とし実施した。 毎月 1 回実施

##### ③元気アップ事業（上浦支部） 参加者 延べ 454 名（87 回/年）

- ・上浦ふれあいプラザを会場とし、経験豊富な健康運動実践指導者によるストレッチ、筋力トレーニング、有酸素トレーニング、ヨガ等を取り入れた介護予防運動を月 8 回実施。

##### ④体操教室 ひとつむぎ（本匠支部） 参加者 延べ 146 名（8 回/年）

- ・地区住民を対象に、体操教室を通じて介護予防の推進をはかり、健康寿命の延伸へつなげる。本年度は、認知症予防を目的に加え、昨年を引き続き、市民有志によるひとつむぎサポーターも運営に携わった。

##### ⑤このゆびとまれ事業（宇目支部） 参加者 延べ 87 名（15 回/年）

- ・健康体操や制作活動、レクリエーション、おやつ作り等を通して、健康・介護予防に関する意識の向上、身体機能・精神面の向上を図った。

- ⑥シニア世代元気事業（直川支部） 参加者 延べ345名（48回/2ヵ所）
  - ・シニア世代を中心に健康寿命を延ばす事を目的として、ストレッチ体操等の介護予防への取り組みを行った。さらに地域に住む同世代と交流する事で、地域への関わりが増え、活動の範囲を広げることへとつながった。
- ⑦思いやりごはん「うめ」（宇目支部） 参加者 延べ19名（2回/年）
  - ・一人暮らし高齢者を対象に、調理実習や会食を通じて社会参加や栄養改善の意識向上を図った。
- ⑧スマホ教室（直川支部）（1回/年）
  - ・「スマホを教えてほしい」という方を対象にスマホの操作説明を行う。災害時や介護予防に役立つ機能などを説明する。合わせて脳トレや簡単な体操を行う事で介護予防促進を図った。
- ⑨「3カフェテラス」 in 西上浦（佐伯エリア） 参加者 延べ13名（2回/年）
  - ・高齢男性の居場所づくりへの取り組みとして、食への興味と役割を持てる暮らしの継続を視野に料理教室を開催。調理体験と参加者同士の交流を図り、次年度の自主活動団体立ち上げに向け、支援者の理解が深まった。その後、支援者を中心に2回の料理教室が行われた。
- ⑩自主活動グループ“渡町台おやじキッチン” 伴走支援（5回/年）
- ⑪佐伯地区「地域力アップ」懇談会（佐伯エリア）
  - ・マルショク佐伯店の閉鎖による生活環境の変化から見える課題を踏まえ、地域の集いについて佐伯小学校校区の代表区長と地区社協役員を交えた懇談会を開催。シニア世代の暮らしと現状、居場所づくりについて共通理解を深める過程において「地域を知ること！」を趣旨に「わくわくバザー」を開催。
  - ・日本文理大付属高等学校「eスポーツクラブ」の生徒を講師に招き、体験会を実施。新たな交流へと繋がった。
- ⑫米水津わいわいプロジェクト（米水津支部） 参加者 延べ377名（42回/年）
  - ・概ね70歳前後の高齢者を対象とした介護予防を目的とする体操・運動教室で、簡単なヒップホップダンス取り入れた運動を行い皆さん楽しく交流を深めた。
- ⑬輝プロデュース（佐伯エリア） 登録者 33名
  - ・旧市内在住の住民を対象に、趣味や特技・スキルを持つ方を輝サポーターとして登録し地域の活性化や地域課題の解決等に結びつける。 交流会 2回 延べ32名参加

#### 4 権利擁護体制の充実、サービス利用に関わる権利擁護体制の整備

##### (1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

- 判断能力が低下した方への福祉サービスの利用援助や金銭管理、書類の預かりサービス
  - ・新規契約件数 32件 ・解約件数 27件

日常生活自立支援サービスの契約件数						令和6年3月末
支部	佐伯	上浦	弥生	直川	蒲江	合計
契約件数	112	3	11	1	12	139

##### (2) 成年後見制度の利用促進

- 佐伯市成年後見支援センターの運営
  - ・運営委員会の開催 2回（5月、3月）

- ・受任者調整会議の開催 4回（5月、7月、9月、1月）
- ・事例検討会 1回（3月）
- ・相談対応実績 延べ114件
- ・広報・啓発 パンフレット作成・配布（各関係機関）  
単位民児協定例会等の会議に出席し、事業周知を行った。  
その他、市報、社協だより、ホームページ、ケーブルテレビ等による広報を行った。
- ・センター職員による講師派遣  
1月23日 認知症サポーター研修会 制度説明 成年後見支援センターの紹介  
3月30日 宇目老人クラブ 制度説明

○市民後見人養成講座の開催

- ・10日間（9月～1月） 11名（受講修了者）

○フォローアップ講座の開催

- ・市民後見人養成講座修了者のうち、市民後見人候補者名簿登録者を対象に実施した。  
2回（8月、1月 延べ受講者数 23名）

○法人後見事業

- ・法人後見受任実績

新規	類 型				延べ支援回数
	後見	保佐	終了	計	
令和5年度	6	1	3	10	592回

[IV] 安全安心なまちづくり

1 地域ぐるみの防犯・防災対策の推進

(1) 災害ボランティアセンターの設置・運営

- 12/7 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

(2) 地域防災講座への協力（講師派遣）と防災事業の実施

- 地区社協や自治会等への講座実施

①宇目地区防災研修の実施（宇目支部）

- ・11/16 宇目振興局、宇目地区社協、宇目地域コミュニティ協議会、佐伯市社協宇目支部の共催で、大分大学の板井幸則先生をお招きし、「持続可能な防災社会の実現に向けて！～率先避難者になるために～」という演題で、山間部である宇目地域の自然災害を想定した研修会を行った。また、社協職員による「避難所でのパーティションの作り方や簡易ベッドの作り方・非常食の説明」の研修も併せて行った。

②直川地域防災連絡協議会への協力（直川支部）

- ・11/19 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター防災コーディネーターの板井幸則先生を講師に、「持続可能な減災社会の実現に向けて」と題して講演をしていただいた。また災害時の避難所運営等のため炊き出し用フライヤーを使いフライドポテトを揚げて参加者に配布した。



③地域防災力向上事業への協力（蒲江支部）

- ・丸市尾地区で南海トラフ地震を想定した避難訓練の支援、避難支援プラン（13件）の見直し、支援体制を整備した。また、「より迅速な避難誘導」を目指す仕組みとして「黄色いハンカチ作戦」を継続して実施した。

④本匠地域防災講習会への協力（本匠支部）

- ・本匠地域創生支援事業推進協議会主催事業にて、防災食づくりと防災講話を実施した。

(3) 防災教育プログラム事業の実施（佐伯エリア・弥生支部・蒲江児童館）

○防災意識の向上を図ることを目的に、防災教育プログラムの研修企画を実施。

- ・6月6日 児童館防災プログラム(蒲江 子育て家庭の保護者を対象)  
防災講話
- ・7月22日 防災デイキャンプ(切畑小5.6年児童及び保護者を対象)  
簡易タンカーづくり、パーテーション設置
- ・10月14日 児童館防災学習(弥生 来館児童を対象)  
防災食づくり（ハイゼックス炊飯のアレンジ他）
- ・1月26日 佐伯東小学校防災プログラム  
避難所設置体験、クイックパーテーション、段ボールベッド
- ・3月28日 児童館防災プログラム(蒲江 来館児童を対象)  
防災講話

(4) 災害ボランティアネットワーク協議会の運営

○各団体の関係を深めるため、運営支援

会議2回、避難所運営訓練1回、研修会1回

(5) 災害支援に対応できる職員の育成

①災害ボランティア運営リーダー研修への参加

大分県社協が実施するリーダー研修に職員1名が参加し、大規模災害に備えるための必要な知識や技術などを学んだ。

②九州北部豪雨への職員派遣(令和5年8月24～28日)

福岡県久留米市社協に入り、災害ボランティアセンター運営支援を実施。

- ・ローラー訪問により、ニーズ調査を実施。

③能登半島地震(令和6年3月9～15日)

石川県能登町社協に入り、災害ボランティアセンター運営支援を実施。

- ・受付、オリエンテーション、マッチング、現地調査、入力などの支援。

(6) 防災標語づくり（弥生支部）

○『みんなで考える防災標語』として、防災標語を募集し、防災への意識づけを継続して行った。今年度は弥生地区児童クラブにて標語づくりを行った。

(7) 緊急情報キット事業

○高齢者等が万一倒れた時のために、かかりつけ医や薬等の情報を筒に入れ冷蔵庫に保管するキットを配付及びデータの更新作業を行った。

- ・7,634世帯へ配布(内、新規556世帯)

## (8) 高齢者や子どもの見守り活動の推進

○地域で行われる見守り活動の支援を行った。

- ・地区社協配食サービスによる見守り支援
- ・配食サービスによる見守り（上浦支部） 延べ 8,760 名
- ・見守りレター 山部・檜峯地区へ住民有志で手紙による見守りの実施。  
年 3 回/訪問 2 回(本匠支部)
- ・宇目あんしん見守り隊の活動支援（宇目支部）  
子どもや高齢者を『自然なかたち』で見守ることができるよう、各関係団体へハガキを通じて見守り活動の啓発を行った。 107 件
- ・かまえ安全安心マンボウ隊の見守り活動支援（蒲江支部） 延べ 3 回
- ・福祉推進員による見守り（蒲江支部） 43 地区

## 2 誰にでもやさしいまちづくりの推進

### (1) 新たな移送サービスの検討(弥生支部・直川支部)

- ①高齢者の移送支援の取組として、県のモデル事業を受けて移送支援の検討を行った。
- ②コミュニティバスの再編成に伴い、職員が乗車体験等を行うなど、利活用に関する助言や啓発支援を行った。

## [V] その他の事業

### (1) 社協の自主財源の確保の取り組み

- ①本会の行う各事業において、社協旗等を活用して積極的にPRし、自主財源となる会費への理解を進めた。
- ②自動販売機(9ヶ所)の設置売上による自主財源確保に取り組んだ。

### (2) 職員の資質向上の取り組み

- ①職員のスキルアップを目的として、外部講師の招聘による研修会の企画や県内外の社協関係者との合同研修に職員を派遣して資質向上に努めた。
  - ・新任職員・新任管理職研修
  - ・市町村社会福祉協議会新任職員研修
  - ・市町村地域福祉実践発表会
  - ・成年後見制度事業研修

### (3) 福祉現場実習生の受け入れ(人材育成)

- ①日本文理大学 2 名 久留米大学 2 名の受け入れを行った。

### (4) 地域福祉活動計画の進行管理

- ①佐伯市地域福祉活動計画策定委員会において、第 3 期佐伯市地域福祉活動計画の令和 4 年度の経過報告を行った。
- ②第 4 期佐伯市地域福祉活動計画の策定(令和 6 年度～10 年度)

## <在宅福祉課>

### 1 介護保険事業の状況と取り組み

介護保険事業において、国は要介護者を対象とした介護保険制度に軸足を置き、介護予防事業は市町村に移管した。佐伯市においても自立支援の考え方に立った「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）を実施し、社協の各事業所では、要介護状態にならないための運動指導や認知症予防の取り組みを進めるとともに、各種研修を行い職員の資質向上に努めた。

処遇改善加算や特定処遇改善加算、ベースアップ加算を取得することで、職員に対して職務を明確にし、処遇改善による資格手当等の支給を継続して行い介護職員の定着を図った。

#### (1) 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

○要介護者の依頼により居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービス提供事業者との連絡調整を行った。総合事業プランについては、地域包括支援センターより積極的に受託し、地域住民の介護予防を支援した。

まごころ、うめの2事業所・12名の介護支援専門員（ケアマネージャー）で事業を実施したが、2名が退職、また、職員の高齢化が進んでいるため、今後の対応について協議を行った。

3月末プラン数：291件（介護260件・予防31件）

#### (2) 訪問介護事業（ホームヘルプ）

○佐伯市全域を対象として事業を実施した。主に入浴・排泄などの身体介護や調理・洗濯・清掃などの生活支援を行った。また全てをヘルパーが行うのではなく、自立支援を目的として、利用者にはできることは一緒に行うように支援した。

サービス提供責任者8名、登録ヘルパー35名で運営した。3名が退職、3名を採用したが、職員の高齢化が進んでいるため、今後の対応について協議を行った。

3月末利用者数：150名

#### (3) 通所介護事業（デイサービス）

○上浦、宇目、直川の3事業所を運営。食事・入浴などの日常生活上の支援や生活機能向上のための運動等を提供した。また、介護予防教室「おげんき広場」については、上浦、直川、米水津の3事業所で作業療法士が中心となり、運動指導や認知症予防プログラムへ積極的に取り組んだ。

また、利用者の獲得、収入増への取り組み（利用料の見直し・各種加算の取得等）やICT（タブレットシステム）の導入について、協議を行った。

3月末利用者数：129名

### 2 障がい者(児)等を対象とした訪問介護事業（ホームヘルプ）

○介護保険事業同様に、市と連携しながら市受託事業の障がい者福祉サービスや障害者総合支援法による身体障がい(児)者・知的障がい(児)者等への訪問介護サービスを提供した。

3月末利用者数：45名

### 3 受託事業の状況

#### (1) 高齢者生活福祉センター居住部門及び生活支援ハウス運営事業

○入居者に対し生活援助員を配置し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援した。

3月末入所者数：24名

#### (2) 地域包括支援センター運營業務（受託事業）

○令和3年度から第2，3圏域のセンターを受託して3年が経過、圏域ごとに設置されたこと、住民にとって相談しやすい環境が整ったことにより、相談件数がさらに増加した。また、令和5年度より圏域ごとに地域ケア会議を実施（10回）し、介護支援専門員等他機関との連携を図った。

第2圏域 弥生、本匠、宇目、直川 第3圏域 鶴見、米水津、蒲江

年延べ相談件数：2227件（第2圏域 1,143件・第3圏域 1,084件）月平均 185件

主な相談：介護 1,264件 介護予防・生活支援 472件 認知症 123件

医療 40件 権利擁護 38件 その他 290件

### 4 処遇改善への取組み

介護職員処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算、ベースアップ加算を継続して算定し、職員のさらなる処遇改善に努めた。

### 5 現場実習生の受け入れ（人材育成）

佐伯豊南高校の依頼により、資格取得のための現場実習生（8名）の受け入れを行った。

### 6 佐伯市SOSネットワーク事業への協力

佐伯市との「佐伯市SOSネットワーク事業に関する協定」に基づき、徘徊事案が発生した場合、相互に協力する体制を築くことで、対象者が安心して暮らせる地域社会づくりへの協力を行った。

## <施設福祉課>

### 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑

豊寿苑の理念『私たちは、入苑者の方々の「その人らしい生活」を大切にし、快適な暮らしができるよう支援します』のもと、入苑者の生活の質を向上させることに努め、重度者に対応した職員のスキルアップと介護技術の向上のための研修や新任職員を対象とした研修を強化した。

感染症対策として、新型コロナウイルス感染防止のため、窓越し面会、職員の出勤時の検温、体調管理・体温測定記入表の活用（一日二回の体温測定）を継続して行った。5月からは新型コロナウイルスが5類へと移行されたため、窓越し面会から部屋を準備した室内面会へと切り替えを行った。

佐伯市内で感染症が起こる中、職員が感染防止を徹底したことで、複数人コロナ罹患者はあったものの、最小限の範囲にとどめられた。また、インフルエンザが流行する中、罹患者はなく、年間を通して面会が行えたことは成果である。

当苑は終末期を迎える入苑者も多く、看取りはできるだけご家族と一緒に居れるよう密に連絡を取り合い、一緒の時間を過ごしていただいた。

ノーリフティングケアの推進については、スライディングシート（ボード）の活用も定着した。

施設行事は、家族交流会など外部との交流は中止しているが、盆踊りなど、全フロア集まっての行事を開催することができた。毎月の行事等は、各フロアで工夫を凝らし、小規模ではあるが、季節の行事などを行った。

また、豊寿苑での様子を地域へ発信するため、広報誌やホームページを活用し、リアルタイムで苑での活動を紹介した。

## 1 入苑者の概要（各年度末統計）

### （1）年間の平均入所者数

年 度	従来型（79）	ユニット型（21）	合計（100）
5年度	73.92人	20.17人	94.09人
4年度	71.50人	20.92人	91.42人
3年度	74.33人	20.17人	94.50人

### （2）年間の入所率・稼働率

#### ○特養（老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設）

年 度	入所率	稼働率
5年度	94.5%	91.2%
4年度	92.8%	88.2%
3年度	95.0%	90.6%

#### ○短期入所（ショートステイ）

年 度	延べ利用者数	稼働率
5年度	626人	57.2%
4年度	896人	81.8%
3年度	534人	48.8%

### （3）平均年齢（令和6年3月末）

性別	従来型	ユニット型
男 性	82歳9月	90歳3月
女 性	86歳6月	89歳11月
全 体	85歳6月	90歳

### （4）要介護度別の割合（令和6年3月末）

要介護度	入苑者の割合		R5年度 全 体	R4年度 全 体
	従来型	ユニット		
要介護1	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
要介護2	1.37%	0.00%	1.07%	1.07%
要介護3	20.55%	25.00%	21.51%	20.21%
要介護4	53.42%	35.00%	49.46%	47.87%
要介護5	24.66%	40.00%	27.96%	30.85%

## 2. 職員の研修状況

### ①外部研修

期 日	研修名	場 所	職 種
R5.6 /R5.10	ユニットリーダー研修講義 3日間	オンライン	介護職員
R5.10.26	摂食・えん下障がい研修会	オンライン	栄養士
R5.12.8	老施協 「生活相談員研修会」	県総合社会福祉会館	生活相談員
R5.12.16	オーラルフレイル予防と多職種連携研修会	オンライン	栄養士
R6.1.30	褥瘡予防におけるポジショニング研修	オンライン	介護主任・副主任
R6.2.26	いきいきサロン支援員研修会	市社会福祉センター	栄養士・介護職員
R6.2.27	佐伯市地域ケア会議 全体研修会	オンライン	事務長
R6.2.28	大分県老施協 県南ブロック会議	特養 四季の郷	苑長
R6.3.22	介護保険事業者集団指導	佐伯市役所	事務長
R6.3	ユニットリーダー研修実地 4日間	特養 くわのみ荘	介護職員
R6.2～3月	認知症介護基礎研修	オンライン	介護職員 3名

### ②内部研修

期 日	内 容	職 種
R5.5	現任研修（感染症①・食中毒①について）	全職員
R5.5.26	オムツの当て方・交換方法勉強会①	介護職員
R5.6	身体拘束研修（新規雇用者対象 2名）	介護職員
R5.7	現任研修（身体拘束①・褥瘡予防について）	全職員
R5.9.14	オムツの当て方・交換方法勉強会②	介護職員
R5.11	現任研修（認知症・看取り・急変時の対応について）	全職員
R5.11.16	オムツの当て方・交換方法勉強会③	介護職員
R6.2	現任研修（身体拘束②について）	全職員
R6.3	現任研修（感染症②・食中毒②について）	全職員
R6.3	現任研修（リスクマネジメントについて）	全職員
R6.3	現任研修（人権・接遇について）	全職員

### 3. 福祉ネットワーク協議会、福祉の事業所ガイダンス

- (1) 佐伯豊南高校に設置されているネットワーク協議会へ参加、他施設等と意見交換を行った。
- (2) 事業所ガイダンスに参加し、生徒へ苑の事業説明等を行った。
- (3) 介護職員現場実習生の受け入れ（人材育成）

各高校からの依頼により、資格取得のための現場実習生の受け入れを行った。

佐伯豊南高校 4名 日本文理大付属高校 2名